

問合せ  
感染症予防課（担当者：児玉 由加、長島 由利子）  
（内線）2-3656（直通）0565-34-6180

## Press Release

### 集団かぜ（インフルエンザ様症状）が発生しました

平成30年10月1日（月）、豊田市立堤ヶ丘こども園（豊田市堤町道仙65）から、インフルエンザ様症状者が多いため登園自粛の防疫措置をとる旨の連絡が豊田市保健所がありました。

本件は、豊田市で今期（9月3日（月）～）初のインフルエンザ様症状の集団かぜによる登園自粛となります。

手洗い及びうがいによる予防、早期治療を心がけて感染と重症化を防ぐように注意喚起します

堤ヶ丘こども園の状況（平成30年10月1日 午後2時現在）

在籍者数	クラス数	施設長名	措置をしたクラス等の状況				措置日
			クラス名等	在籍者数	患者数	うち 欠席者数	
72人	4	古澤 真起子	そら組 (5歳児)	23人	10人	10人	10月2日

以上（添付資料：有 写真データ：無）  
感染症予防課長 確認済

〈参考〉（愛知県の報道発表資料より）

## ○ インフルエンザについて

インフルエンザは、毎年12月上旬から1月に流行が始まり、1月から3月にかけて流行します。普通のかぜの多くは、のどの痛み、鼻水、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまりみられません。インフルエンザはそれらの症状のほかに突然の38度以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が現れます。

また、気管支炎や肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんや脳症などを併発して、重症化することもあるため、高齢者や小児では特に注意が必要です。

なお、本県では平成29年/30年シーズンに、A型（AH1pdm09、AH3）及びB型（山形系統、ビクトリア系統）が確認されています。

## ○ 予防・治療について

流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。12月中旬までの接種が目安です。

咳などの症状がある場合は、周りの人にうつさないために、マスクを着用するなど「咳エチケット<sup>注)</sup>」に心がけましょう。

外出後には、流水・石けんで手洗いをしましょう。

空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなりますので、室内では加湿器等で適度な湿度を保つようにしましょう。

十分な休養とバランスの取れた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

インフルエンザが流行してきたら、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

かかった時は早めに医療機関を受診しましょう。安静にして休養をとりましょう。水分を十分に補給しましょう。

小児、未成年の患者では、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと徘徊する等の異常行動を起こすおそれがあるので、自宅で療養する場合は、少なくとも2日間、保護者等は小児、未成年者が一人にならないよう配慮しましょう。

### 注) 咳エチケットとは？

- ・咳やくしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ・咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

## ○ インフルエンザの発生状況について

県内における今シーズンのインフルエンザ発生状況は、健康対策課のインフルエンザ情報ポータルサイト (<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>) でご覧になれます。

なお、愛知県衛生研究所のウェブサイト (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>) でも、インフルエンザの発生状況などについて情報提供しています。